



【YouTube】QRコードを読み取ると本会議の映像が見られます。



(動画時間) 119分  
1:43:34  
委員長報告

10月4日～7日  
道外所管事務調査  
結果報告

総務産業  
常任委員会

10月4日から10月7日まで  
の4日間の日程で道外所管事  
務調査を行いました。

所管事務調査は、町から提  
案された予算案や条例案など  
の議案審査をするのとは違い、  
常任委員会です管している事  
項について、自主的にテーマ  
を設定し、審議に必要な調査  
を議会の休会中に行うものな  
ります。

道外所管事務調査は現地調  
査とし、岐阜県郡上市と神奈  
川県横浜市へ5名の委員（議  
長同行）を派遣しました。事  
業担当者からの説明や施設見  
学など行って調査をしました。  
12月定例会議で結果報告し  
た内容を、一部抜粋して掲載  
します。

◆岐阜県郡上市

(山づくり構想)

山づくり構想は、豊かで美

しい山を実現するために基本  
理念に基づく3つの基本方向  
（市民生活を守る「安心」、  
森林資源の利用「循環」、地  
域づくり「活力」）、8つの  
基本的施策（災害に強い山づ  
くり、多様性のある山づくり、  
快適な森林空間づくり、木材  
資源の循環、森林資源の利用  
促進、山を支える人づくり、地  
域を支える人づくり、林業を  
支える人づくり）により山づ  
くりを進めることとしている。

(高鷲財産区)

合併後、旧高鷲村の村有林  
を高鷲地域が管理をする目的  
で高鷲財産区が設置され、現  
在は高鷲財産区管理会が管理  
している。

高鷲財産区桑ヶ洞禁伐規約  
は、元々旧高鷲村の条例で、  
議会の議決ではなく、高鷲町  
内に在住する世帯の3分2以  
上の賛成がないと皆伐させな  
いというもので、山を守るこ  
とが目的である。合併により  
条例を引き継ぐことができな  
かったことから、高鷲財産区  
管理会の規約として、考え方  
を継承している。

所見

郡上市は、郡上郡7町村の  
合併により平成16年3月に誕  
生した市であるが、その中の  
「高鷲村」は下川町の母村で  
ある。

本町において、世代交代が  
進むことによって、歴史が埋  
没し希薄化していく事実は痛  
ましいものがある。

歴史を今一度振り返り、母村  
との積極的な交流を進めてい  
くべきであり、今後の取り組  
みに期待するものである。

◆神奈川県横浜市  
(SDGs未来都市の取り組みについて)

ヨコハマSDGsデザイン  
センターは、横浜市と民間事  
業者が共同で設立・運営する  
組織で、SDGsの達成に向  
けて、市内外の多様な主体が  
持つニーズとシーズをつなぎ  
合わせ、横浜市における環境  
・経済・社会的課題を解決す  
るための中間支援組織である。  
組織のメリットとしては、  
民間のノウハウやネットワー  
クがあり、様々なアイデアが  
生まれるなど、相談支援が充  
実する。

(市庁舎見学)

主要な設備機器を津波によ  
る浸水の恐れがない高さ（4  
階）に設置するとともに、7  
日間使用できる非常用電源と  
飲料水・トイレ洗浄水を確保  
し、災害時にも市庁舎機能を  
維持することができる。

所見

市の「SDGs未来都市計  
画」では、下川町と同市の戸  
塚区川上地区連合町内会との  
友好交流協定についての記載



郡上市担当者の説明



高鷲財産区管理会の説明



横浜市担当者の説明や庁舎見学の様子



がある。本町においても、関  
連ある計画の中で掲載してい  
くことで町内外へのアピール  
に繋がるものと思う。行政の  
みでなく、住民レベルでの交  
流も必要であり、繋がりを大  
切にして継続していくことが  
必要である。  
本町の現庁舎は昭和49年に  
建築されてから48年を経過し、  
耐用年数である50年まではあ  
りつつある。今後のあり  
方について検討を進めていく  
ことが必要である。